



平成 22 年 11 月 15 日

各 位

東京都港区港南三丁目5番14号
ヒビノ株式会社
代表取締役社長 日比野 晃久
(コード番号：2469)
問い合わせ先：ヒビノ GMC 経営企画本部長
大 関 靖
電話番号：03-3740-4391

過年度決算短信等の一部訂正について

当社は、平成 21 年 3 月期に計上した売上等における会計処理の適正性につき、訂正すべき事項があるとの指摘を当社の監査人である有限責任監査法人トーマツより受け、協議を重ねた上での熟慮の結果、より厳格な会計処理を行うものとして、過年度の決算に遡り過去に開示いたしました決算短信等を訂正することといたしましたのでお知らせいたします。

なお、本訂正に伴う平成 23 年 3 月期の連結業績予想について修正はございません。

記

1. 訂正の理由

当社は、平成 20 年 8 月より国立大学法人 大阪大学及び株式会社 ロステックとの「電気信号の伝送効率の改善」に関する 3 社共同研究を開始し（平成 20 年 8 月 19 日発表）、同年 11 月には「太陽電池の発電量増加に寄与する装置」の試作品を開発し（平成 20 年 11 月 4 日発表）、良好な実験結果を得られたことから、環境・エネルギー事業参入に向けた準備に取りかかっておりました。

他方、当社と大阪大学との共同研究開始以前より、当該研究に参画していた太陽電池モジュールの製造・販売・施工を手がける株式会社ケー・アイ・エス（以下「K社」という。）と当社の間で、平成 21 年 1 月に「太陽電池の発電量増加に寄与する装置」に纏わる取引基本契約を締結し、K社と当社で協議の上合意した仕様書に基づき、K社に同装置を同年 2 月に 2,000 台、3 月に 24,000 台、合計 26,000 台、520 百万円を納品、検収確認（支払条件：平成 21 年 6 月支払）いたしました。しかしながら、K社が当社より仕入れた同装置は、K社顧客層への販売がなされず、売掛金の未回収が発生しました。

当社はK社に対する売掛金の回収に向けてK社との交渉を重ねるとともに、当社独自による「太陽電池の発電量増加に寄与する装置」の実証実験環境を平成 21 年 8 月に設置し、平成 22 年

8月に亘る期間で、K社顧客層への販売に向け同装置に関する資料提供等を行ってまいりました。しかしながら、平成22年3月期末までに売掛金の回収に至らなかったため、当該売掛金の回収可能性について慎重に検討し、貸倒引当金378百万円を計上することといたしました。

その後、当第2四半期決算に際し、有限責任監査法人トーマツの四半期レビューの過程において、K社に対する売掛金の回収可能性とK社仕様で生産していた同装置の長期滞留在庫についての販売可能性に関する疑義及び関連する取引全体の再検証が必要であるとの指摘を受けました。

当該取引に関する詳細を調査・再検証し、

- ① 売上時点及び以降のK社資力を詳細に検討した結果、K社単独での支払能力が乏しいと判断されること
 - ② 現時点での状況を勘案するとリスクと便益が買主へ移転したとは言い難いこと
 - ③ 「太陽電池の発電量増加に寄与する装置」のK社仕様の効果について、当初想定していた水準を確認するに至っていないため、現時点では販売の目処がたっていないこと
- など、主に上記3点が協議対象となりました。

当社といたしましては、当該案件の出荷・納品及びK社における検収確認に至る手続き等に重要な不備はなく、取引自体は適正になされたものであると判断しております。また、不正・粉飾と言った類の疑義のないことも確認しておりますが、有限責任監査法人トーマツとの協議の上、熟慮した結果、より厳格な会計処理を行うものとして、過年度の決算に遡り決算短信等を訂正することといたしました。

なお、本件取引に係る債権回収に関しては、会計上、過年度の決算に遡っての売上及び在庫の評価を訂正いたしましたが、債権の請求権そのものが否定された訳ではなく、当社は引き続き関係者に対する法的手段も含め今後の対応を図っていく方針であります。

2. 訂正する決算短信等

(公表日)

(1) 「平成21年3月期 決算短信」	平成21年 5月 15日
(2) 「平成22年3月期 第1四半期決算短信」	平成21年 8月 7日
(3) 「平成22年3月期 第2四半期決算短信」	平成21年 11月 6日
(4) 「平成22年3月期 第3四半期決算短信」	平成22年 2月 5日
(5) 「平成22年3月期 決算短信」	平成22年 5月 14日
(6) 「平成23年3月期 第1四半期決算短信」	平成22年 8月 6日

3. 訂正による過年度業績への影響

別紙のとおりであります。

株主様、お取引先様や他の多くの皆様には大変なご心配をおかけいたしますが、今後とも皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

(別紙)

訂正による過年度業績への影響

(単位：百万円)

期	項目	連結			個別		
		訂正前(A)	訂正後(B)	訂正額(B-A)	訂正前(A)	訂正後(B)	訂正額(B-A)
平成21年3月期 決算短信	売上高	17,727	17,207	△ 520	15,078	14,558	△ 520
	営業利益	530	271	△ 259	634	374	△ 259
	経常利益	631	371	△ 259	693	433	△ 259
	当期純利益	220	△ 322	△ 543	374	△ 168	△ 543
	総資産	15,467	15,276	△ 191	15,233	15,041	△ 191
	純資産	5,654	5,111	△ 543	5,813	5,270	△ 543
平成22年3月期 第1四半期 決算短信	売上高	3,211	3,211	—			
	営業利益	△ 202	△ 200	2			
	経常利益	△ 228	△ 226	2			
	四半期純利益	△ 255	△ 253	2			
	総資産	15,230	14,869	△ 360			
	純資産	5,346	4,805	△ 541			
平成22年3月期 第2四半期 決算短信	売上高	7,089	7,089	—			
	営業利益	30	34	4			
	経常利益	13	17	4			
	四半期純利益	120	124	4			
	総資産	15,620	15,123	△ 497			
	純資産	5,681	5,142	△ 539			
平成22年3月期 第3四半期 決算短信	売上高	10,437	10,437	—			
	営業利益	43	49	6			
	経常利益	△ 36	△ 30	6			
	四半期純利益	55	62	6			
	総資産	15,166	14,671	△ 495			
	純資産	5,467	4,930	△ 537			
平成22年3月期 決算短信	売上高	14,207	14,207	—	11,670	11,670	—
	営業利益	△ 543	△ 230	313	△ 730	△ 349	380
	経常利益	△ 636	△ 322	313	△ 626	△ 246	380
	当期純利益	△ 375	△ 150	225	△ 377	△ 151	225
	総資産	14,792	14,516	△ 275	14,575	14,299	△ 275
	純資産	5,010	4,693	△ 317	5,185	4,867	△ 317
平成23年3月期 第1四半期 決算短信	売上高	3,451	3,451	—			
	営業利益	△ 81	△ 81	0			
	経常利益	△ 114	△ 114	0			
	四半期純利益	△ 194	△ 193	0			
	総資産	15,191	14,916	△ 274			
	純資産	4,780	4,463	△ 316			